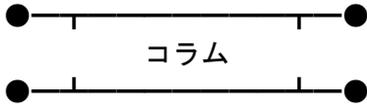




本メールマガジンは山梨大学 新技術情報クラブ会員の皆様へ最新情報をお知らせする目的で配信しております。メール配信を希望されない方は、「配信停止」とお書きの上、ご返信ください。



いつも新技術情報クラブのご支援を頂いておりまして、誠にありがとうございます。

私は「やまなし水素・燃料電池ネットワーク協議会」に所属し、大学組織であります「水素・燃料電池技術支援室」にも兼務しておりますので、若干最近のトピックに触れてみたいと思います。

燃料電池はご存じの方も多いと思いますが、水素と酸素の化学反応を利用して電気を取り出すものでありまして、電気をためる「二次電池」とは異なり発電をする「一次電池」に属します。

発電した電気が100%利用されず余剰する場合には、「溜める」目的で二次電池であるバッテリーが活躍します。これは電気を電気として溜め込むものです。

一方で、燃料電池では水素と酸素を反応させて電気を取り出すので、水素を保存すれば空気中の酸素を利用して発電が可能となります。

水素の保存方法（溜め込み方）ですが、FCVの水素ポンペは水素を超高圧にして液化する方法が使われています。このポンペは非常に重たいため軽量化を必須とする用途では使えない方法です。

このため昨今研究されておりますのは、ポリマーより比較的少数のモノマーが結合した重合体である「オリゴマー」と呼ばれる高分子で保持された水素基を、必要な都度剥奪して酸素と反応させる方法です。

従来技術としては、メタノールの構造に取りついている水素基を利用して取り出すもので「直接メタノール形燃料電池（ダイレクト・メタノール・フュエル・セル）」と呼ばれ、可搬性が良いので主にポータブル機器にトライされてきております。しかしメタノールは毒性が強く、かつ可燃性で安全に利用するためには薄めないとならない欠点があります。

一方オリゴマーを利用するタイプでは、燃料の安全性を向上させながらも、電極貴金属を低減できるため低コストで高出力な燃料電池を得ることが期待できます。

山梨大学における代表的な研究としましては、JSTのA-STEPシーズ顕在化タイプで研究された「有機オリゴマー燃料を利用したポータブル燃料

電池用発電セルの開発」があり公開されていますので、ネットで検索してみてください。

<https://www.jst.go.jp/a-step/hyoka/pdf/201508/AS2421034M.pdf>

これが実用化されると、今まで利用が難しかったアプリケーションへの展開も可能となると思っております。

さて、前置きが長くなりましたが、「やまなし水素・燃料電池ネットワーク協議会」では山梨地域における燃料電池産業の活性化に向けてロードマップを作成開始する予定です。この目的で、山梨県が主催する「山梨燃料電池産業化推進会議」の中に「産学連携戦略専門部会」が近々創設され私も参画していきます。

内容の検討はこれからですが、『山梨燃料電池バレー』に向けたシナリオが描ければよいなと思っております。

所で、嬉しい報告がありました。(このメルマガの中にトピックス [4] で詳細がありますのでご確認ください)

富士電機株式会社山梨製作所では、省エネルギー大賞経済産業大臣賞を受賞したとのことです。いよいよ山梨県での実績が認められつつあるようです。

では、今後ともご支援ご鞭撻よろしく申し上げます。

文責 統括コーディネータ 還田 隆

=== ここからは、お知らせです。 ===

■ インフォメーション 目次

- 01: トピックス (5件)
- 02: 出展情報 (2件)
- 03: 公募情報 (2件)
- 04: イベント情報 (5件)
- 05: プレスリリース (2件)

■ 01 トピックス (5件)

[1] 1/20

豊木博泰工学域長らが山梨県域バス路線情報「オープンデータ化」を開発
<http://www.yamanashi.ac.jp/7861>

1月20日(金)、甲府キャンパスにおいて、山梨県域バス路線情報「オープンデータ化」公開に関する共同記者会見を行いました。

現在、山梨県バス協会で運営されている山梨県バス総合案内システム「やまなしバスコンシェルジュ」が作成・保有するデータが(株)YSK e-com及び本学が共同で開発したデータを出力するソフトを通じて世界標準フォーマット「GTFS形式」で公開されます。

これにより、県内のバス路線や停留所の位置情報、運行時刻や料金等の情報が、大手情報検索サイトの交通情報サービスで活用される予定です。実現すれば、時間・場所を問わず誰でも県内のバス情報を入手することが可能となり、外国人観光客等の利便性の向上が見込まれます。

今回、全国に先駆けて、県単位のバス情報をオープンデータ化することにより、今後、全国の公共交通情報のオープンデータ化の加速が期待されます。

会見ではソフト開発を主導した豊木博泰 工学域長及び(株)YSK e-com 担当者が、システムの概要や利用方法、他国での実例等を説明しました。

※山梨県の路線バス情報の GTFS データ提供サイト

<http://opendata.busmaps.jp/> (※2月1日(水)公開予定)

[2] 1/21 「山梨大学 COC セミナー」を開催

<http://www.yamanashi.ac.jp/7919>

1月20日(金)、甲府キャンパスにおいて(医学部キャンパス同時中継)、COC セミナー「COC事業による地域人材の育成」を開催しました。

同セミナーでは、全学的な地域志向型の教育カリキュラムを展開し、地域の課題を解決できる人材育成を図る取り組みから、地域の期待に応える人材育成について考えました。

早川正幸 理事・副学長による開会挨拶の後、北村眞一 地域未来創造センター長が「地域課題解決人材育成プログラムによる地域人材の育成」と題して講演し、本学 COC 事業の現状と課題について報告しました。

次に益川浩一 岐阜大学教授・地域協学センター長より「次世代地域リーダー育成プログラムによる地域人材の育成」と題してご講演いただきました。益川センター長は、自治体・金融機関・市民活動関係者等と幅広く連携した実施体制や、教育プログラム、地域と対話する場の設置、地域志向型の新しいプロジェクトなどを丁寧に説明されました。

同じ地方国立大学の同事業の取組状況を聞く貴重な機会となり、課題の共有など大変参考となるセミナーとなりました

○説明資料希望等は問合せください。

[3] 1/21

東京都・山梨県と本学が医学・工学連携に関する研究会を合同で開催
<http://www.yamanashi.ac.jp/7907>

1月21日(土)、医学部キャンパスにおいて、「山梨大学×東京都医工連携 HUB 機構×山梨県 合同クラスター研究会」を開催し、約120名が参加しました。

これは、医療機器関係企業やものづくり関連企業等をお招きし、本学から医療機器等の開発ニーズに関する情報を提供し、意見交換や交流を通して企業とのマッチングや産業振興の促進を図るため、東京都・

山梨県の後押しも受け開催しました。

島田眞路学長及び東京都・山梨県による開会挨拶の後、「臨床ニーズ発表会」として本学教員・医師・コメディカル等が臨床現場での医療機器開発のニーズを33件発表しました。

また、県内外の企業30社からPRブースへの出展があり、交流会・個別相談会では、本学の臨床ニーズ発表に対して、企業担当者との名刺交換・開発相談が行われ、有意義な研究会となりました。今後の共同研究につながることを期待されます。

○ 開催チラシ https://ikou-hub.tokyo/pdf/event_20170121.pdf

[4] 富士電機山梨製作所

「省エネルギー大賞経済産業大臣賞（節電分野）を受賞
<https://www.eccj.or.jp/bigaward/winner16/index.html>

平成28年度省エネ大賞（後援：経済産業省）の受賞者および受賞内容については、下記URLをクリックして、ご参照ください。
燃料電池が含まれるシステムでの受賞です。

・省エネ事例部門 表彰一覧

<https://www.eccj.or.jp/bigaward/winner16/pdf/e1.pdf>

表彰式は、2/15に東京ビックサイトで開催される「ENEX2017」において実施されます。

○ENEX2017(電力・ガス新ビジネス EXPO)

サイトURL : <http://www.low-cf.jp/index.html>

開催日程 : 2017/2/15~2/17

場所 : 東京ビックサイト 東1・2ホール

[5] 山梨県では「山梨燃料電池実用化推進会議」の下部組織として、「産学官連携戦略専門部会」が2月から発足します。

山梨県では、燃料電池に関する施策を強力に推進するため、関係者の協力を得て「山梨燃料電池産業化推進会議」を設置しました。また、本年2月には推進会議の下部組織として「産学官連携戦略専門部会」が発足します

※「山梨燃料電池実用化推進会議」について

平成21年6月、山梨県では県外の燃料電池関連メーカーや県内機械部品企業、国、大学および学識経験者で構成する「山梨燃料電池実用化推進会議」を設置した。

この会議は、本県が取り組むべき社会実証の方向の検討や関連産業の集積・育成に向けた戦略を産学官の連携により推進することで、本県が環境に優しい水素エネルギー社会の構築の先導役となることを目的としている。

今後の展望としては、山梨県では、山梨大学を中心に行われている燃料電池の研究開発を核としながら、研究活動の支援や山梨から技術情報を発信することで、燃料電池関連産業の集積・育成に取り組み、地域経済の活性化を図っている。

また、米国の西海岸にあるシリコンバレーのように、「燃料電池バレー」となるべく、研究開発、人材育成、産業集積の拠点を形成し（図1）、太陽光や水力、バイオマスにより製造した水素を活用するクリーンで豊かな未来を築くことを目指している。

□■

■02 出展情報 (2件)

[1] 2/3～2/4 テクノプラザおかや “ものづくりフェア2017”
『ものづくり・ひとづくり・ゆめづくり』 ～未来を見据えて～
※<http://www.tech-okaya.jp/webapps/www/event/detail.jsp?id=1465>

今回のものづくりフェアは、参加企業・団体の製品展示（166社・団体）と加工技術の実演に加え、姉妹都市・都市間交流企業の展示、地元学生の事例発表、TPR株式会社や信州大学による記念講演会等が行われます。

◎ 2/3 最上コーディネータ、2/4 還田統括コーディネータも参加予定。

さらには、トヨタテクニカルディベロップメント株式会社のEVレーシングカー「MONO-F」の特別展示、ソフトバンク コマース&サービス株式会社の「最新！スマートロボット体験」がごございます。

その他、諏訪東京理科大学やTPR株式会社、セイコーエプソン株式会社、アイシン精機株式会社等によるものづくり教室が開催されます。

今回もみどころがたくさんあるイベントとなっておりますので、是非お越しく下さい。

■詳細につきましては下記URL「ものづくりフェアチラシ」をご覧ください。
http://www.tech-okaya.jp/webapps/open_imgs/event//0000000073_0000001879.pdf

■会期：2017年2月3日（金）～4日（土）
10：00～17：00（最終日は16：00まで）
（初日は開会式が9：30～開催されます。）

■メイン会場 ・ララオカヤ（長野県岡谷市中央町1-1-1）

■入場料 無料（ものづくり教室の一部は有料）
（アンケートに答えて記念品をゲット！）

[2] 3/1～3/3 FC EXPO 2017 ～第13回 [国際] 水素・燃料電池展～
<http://www.fcexpo.jp/>

FC EXPO は、水素・燃料電池の研究開発、製造に必要なあらゆる技術、部品・材料、装置、および燃料電池システムが一堂に出展する国際商談展です。会員の皆様には招待状を郵送いたしました。

■会期： 2017年3月1日（水）～3日（金）
10：00～18：00（最終日は17：00まで）

■会場： 東京ビッグサイト
<http://www.fcexpo.jp/To-Visit/Venue-Info-Access/>

■事前登録&イベント詳細：<http://www.fcexpo.jp/>

■出展社による製品・技術セミナー
http://www.r-expo.jp/wsew2017/exhiSearch/FC/jp/seminar_list.php

□■

■03： 公募情報 （2件）

[1] 中小企業庁 平成28年度第2次補正予算
「経営力向上・IT基盤整備支援事業(次世代企業間データ連携調査事業)」
における実証プロジェクトの提案募集

中小企業庁では、平成28年度第2次補正予算「経営力向上・IT基盤整備支援事業(次世代企業間データ連携調査事業)」における実証プロジェクトの提案募集を行っています

※<http://www.chusho.meti.go.jp/keiei/gijut/2016/161226ITkiban.htm>

平成28年度第2次補正予算「経営力向上・IT基盤整備支援事業(次世代企業間データ連携調査事業)」は、企業間の受発注業務を含む業種の垣根を越えたデータ連携システムを整備し、中小企業の生産性をより一層向上させることを目的としています。

本事業の一環として、データ連携システムを用いた受発注業務等の効果を確認するために、システム連携調査実証のモデルプロジェクトの募集を行っています。

○募集要領

実証プロジェクトの募集は、本事業の受託事業者である特定非営利活動法人「ITコーディネータ協会」が実施します。

・特定非営利活動法人ITコーディネータ協会ホームページ：
https://www.itc.or.jp/datarenkei/j_publicoffer/

○募集期間

平成28年12月22日(木)～平成29年2月3日(金)まで

○説明会の開催

日時：平成29年1月11日(水)14時00分～

場所：経済産業省内会議室(申込者宛てに別途会場をご連絡します)

○申込方法：特定非営利活動法人ITコーディネータ協会のホームページより申し込みください。

○本発表のお問い合わせ先

中小企業庁経営支援部

技術・経営革新課長 高倉 担当者：高橋、爲房、鈴木

電話：03-3501-1511(内線 5351~5) 03-3501-1816(直通)

FAX：03-3501-7170

[2] 【AMED 公募予告】平成 29 年度

「医工連携事業化推進事業（開発・事業化事業）」に係る公募

○公募概要

国立研究開発法人日本医療研究開発機構（以下、AMED）では、平成 29 年度「医工連携事業化推進事業（開発・事業化事業）」を実施する補助事業者を、2 月上旬から公募します。

本事業は、高度なものづくり技術を有する中小企業・ベンチャー等の医療機器分野への新規参入や、医療機関との連携・共同事業を促進し、医療現場のニーズに応える医療機器の開発・事業化を目標としています。

○事業案内ページ 「医工連携事業化推進事業」

<http://www.amed.go.jp/koubo/020120170116.html>

○対象者

本事業は、機関を対象として公募し、「ものづくり中小企業」、「製造販売企業」、「医療機関」を含む共同体を組成した国内の民間企業が代表機関として応募できます。

※詳細については、公募開始後、公募要領をご覧ください。

○公募期間（予定） 2 月上旬～3 月下旬

○説明会の開催

2 月中旬～下旬に予定をしております。説明会の詳細が決まりましたら、参加申し込み方法とともに、AMED ホームページでお知らせいたします。

○お問い合わせ先

〒100-0004 東京都千代田区大手町 1 丁目 7 番 1 号

国立研究開発法人日本医療研究開発機構 産学連携部医療機器研究課

医工連携事業化推進事業担当 E-mail：ikou_nw@amed.go.jp

□■

■04: イベント情報 (5 件)

◆ [1] 2/7 事業継続計画（BCP）策定の体験型講座の開催について

県内の中小企業の皆様が、BCP を策定する際に役立てていただくため、

山梨県では、事業継続計画（BCP）策定支援等に関する協定に基づき、東京海上日動火災保険（株）の協力を得て、県内企業を対象としたBCP策定体験型講座（ワークショップ）を開催いたします。

体験型講座（ワークショップ）では、「大きな地震発生など、様々な状況シナリオをリアルタイムで受け取り、その場の判断で指示、行動する訓練」（シミュレーション）を体験して、災害発生時等有事の際やその後の対応に必要なことを参加者自ら気づいていただき、その「気づき」を踏まえてBCPの策定に取り組んでいただきます。

■開催日時：平成29年2月7日（火曜日） 午後1時から5時

■開催場所：山梨県中小企業団体中央会（中小企業会館4階）研修室

■申し込み方法：

※平成29年1月25日現在、定員が残りわずかとなっております。
以降の申込に際しましては、お電話にて事前確認をいただけますよう、お願いいたします。

・開催案内兼申し込み用紙（PDF：302KB）
<http://www.pref.yamanashi.jp/shinchaku/shoukosomu/2812/documents/bcpwsp290207.pdf>

・関連リンク 事業継続計画（BCP）のセミナー等開催情報
<http://www.pref.yamanashi.jp/shouko-kik/jigyokeizokukeikaku.html#bcpkaisai>

■講座の詳細

【テーマ】

1. 山梨県におけるBCP策定の必要性（60分）
2. BCP策定ワークショップ（150分）
【講師】東京海上日動火災保険(株) BCP推進役 谷直樹氏

【内容】

1. 山梨県でのBCP策定の必要性について説明します。
2. 体験型講座（ワークショップ）を通じ、入門レベルのBCPを策定します。

■対象 山梨県内に本社または事業所のある企業
（業種、事業規模に関係なくご参加いただけます）

■定員 先着20社（最大参加可能人数1社3名）

■参加費 無料

■主催

山梨県/山梨県商工会連合会/山梨県中小企業団体中央会
甲府商工会議所/富士吉田商工会議所/
公益財団法人やまなし産業支援機構/東京海上日動火災保険株式会社

◆ [2] 2/22 公開講演会
「観光立県に不可欠！観光危機管理の具体的な方策」のご案内
<http://www.yamanashi.ac.jp/7828>

山梨大学地域防災・マネジメント研究センターおよび地域未来創造センターでは、下記のとおり公開講演会を開催いたします。

観光危機管理の第一人者である高松正人氏（JTB 総合研究所）をお招きし、美しい里づくりや観光立県に必要な観光危機管理についてご講演いただきます。

■開催日時：平成 29 年 2 月 22 日（水曜日） 午後 3 時から 5 時

■開催場所：山梨大学甲府キャンパス A2 号館 1 階 A2-12 教室
（山梨県甲府市武田 4-3-11）

■申し込み方法：

参加申込書を申込締切 1/31 までに F A X またはメールにてお送りください。

・開催案内兼申し込み用紙

http://www.yamanashi.ac.jp/wp-content/uploads/2017/01/20170116_2.jpg

・お申し込み先 山梨大学地域未来創造センターCOC 部門

TEL：055-220-8130 FAX：055-220-8702

E-mail：coc-event@yamanashi.ac.jp

■演題 「観光立県に不可欠！観光危機管理の具体的な方策」

■講師 JTB 総合研究所 常務取締役、観光危機管理研究室長

高松 正人 氏

◆ [3] 2/2 「日本から世界へ！農商工連携を活用した海外販路開拓！
～グローバルバリューチェーン構築のためのシンポジウム～」

1. 本件の概要

経済産業省は、「日本から世界へ！農商工連携を活用した海外販路開拓！～グローバルバリューチェーン構築のためのシンポジウム～」を開催します。本シンポジウムでは、農商工連携を活用した更なる農林水産物・食品輸出の促進に向けて、先進的な取組を行う企業、専門家、経験者を招いて現場の課題やその解決策、そのための支援に資する情報提供を行います。

2. 趣旨

我が国の農林水産物及び食品の国際競争力強化と、企業の事業拡大による地域経済の活性化を促進するためには、製品の輸出における、生産、加工、流通、販売の各フェーズで起こる課題とともに、その解決策（ノウハウ）の共有を図ることが必要です。

そのため、本シンポジウムでは、専門家や経験者を招いて現場の課題やその解決策を共有することで、次世代農林水産業ビジネスモデルの普及と、海外への事業展開にチャレンジする事業者の増加に繋げることを目的とします。

3. 開催概要

(1)開催日時・場所

【名古屋】開催日時：平成 29 年 2 月 2 日（木曜日）13：00～16：30

場所：名古屋国際センター別棟ホール 定員 230 名

【東京】開催日時：平成 29 年 2 月 13 日（月曜日）13：00～16：30

場所：時事通信ホール 定員 270 名

- (2) 参加者：生産・加工業者、流通業者など海外展開に興味のある事業者、それをサポートする自治体、金融機関、支援機関等

4. 内容詳細

- ・ チラシへのリンク
<http://www.meti.go.jp/press/2016/12/20161212006/20161212006-1.pdf>
- ・ 農商工連携等によるグローバルバリューチェーン構築事業 公式 HP
<http://noshoko-gvc.jp/>
- ・ 基調講演
「クールジャパン戦略における食産業の役割」
A. T. カーニー(株) 日本法人会長 梅澤高明氏
「新たな海外展開の可能性を秘める最先端の食品加工技術」
(一社)日本食品機械工業会 会長
(関東混合機工業(株) 代表取締役会長) 林孝司氏
- ・ 事例発表
- ・ パネルディスカッションなど

5. 参加方法：公式ホームページでの事前登録制（無料）

- ・ 申し込み先リンク：<http://noshoko-gvc.jp/#symposium>

◆ [4] 2/18 寺子屋「いいえん」開催のご案内 (「いいえん」：山梨産業情報交流ネットワーク)

産学官金連携により新たなイノベーションを起こしていくため、産学官金の関係者が日常的に交流し、お互いに顔の見える層の厚い産業コミュニティの形成を目指す「やまなし産業情報交流ネットワーク（I.I.E.N.Y, いいえん・どっと・わい）」では、下記の通り寺子屋「いいえん」を開催（一般参加可・参加費無料）しますので、ご案内申し上げます。皆様のご参加をお待ちしております。

■ 日 程 平成29年2月18日（土） 13：30～

■ 会 場 甲府商工会議所 5階 大ホール

■ テーマ 「山梨で働くってどうなんだ」

■ 内 容

- 1 地元中小企業の魅力PR：県内中小企業が自社の魅力をPR
- 2 グループディスカッション
県内大学（院）生と企業経営者が膝を交えて、テーマについて意見交換
- 3 学生からのプレゼン
学生からディスカッションの内容や感想、テーマに関する自らの考えをプレゼンしてもらいます
- 4 ふりかえり モデレーターがプログラム全体の振り返りと総括をします

※ 終了後17：30から懇親会（名刺交換会）を行います（会費制）。

■ 問合せ先 ■

山梨県 新事業・経営革新支援課（内藤・西子）

- [5] 2/18 連続市民講座 No.9 （講師：医学部 大西洋教授）
テーマ 「がんにかか（か）ったら
～なぜ今、山梨の放射線治療が注目されているのか？～」
-

山梨大学は今年度も読売新聞甲府支局と共催し、「創る～山梨のチカラを活かして～」と題した全10回の連続市民講座を開催中です。

山梨発の“チカラ”を活かして創り出された新しい技術や、医療の進歩による未来、心を豊かにする文化についてとりあげます。

第9回講義は山梨大学医学部 大西洋教授を講師に「がんにかか（か）ったら～なぜ今、山梨の放射線治療が注目されているのか？～」と題して行います。

- 日 時： 平成29年2月18日（土）
午後1：30～3：00まで（午後1時開場）
 - 場 所： 山梨大学 甲府東キャンパスA2-21教室（地図）
 - 定 員： 330人
 - 受講料： 無料
-

- ■05: プレスリリース （2件）
-

- [1] 2/16 やまなし合同 JIBUN（ジブン）説明会開催のご案内
イベントの観覧・交流会に参加できる大学生と県内企業の方を募集中
～山梨初！大学生と企業が互いにプレゼンする新しい未来の選び方～

学生と企業が”じぶん”をプレゼン！マッチングイベント

『やまなし合同 JIBUN 説明会』甲府・山梨県立図書館にて開催

http://www.yamanashi.ac.jp/wp-content/uploads/2017/01/20170126_1.pdf

山梨大学地域未来創造センター COC+部門は、未来を考える大学生と、山梨に関わる企業のマッチングイベント『やまなし合同 JIBUN（ジブン）説明会』を下記日程で開催します。

- あなたは、どんな JIBUN（ジブン）になりたいですか？
- 企業は、どんな未来の JIBUN（ジブン）を描いていますか？
- そんな想い、社会に伝えてみませんか？

当日のイベントで行われるプレゼンテーションは就職活動によくある「企業が発信し学生がアプローチする」という形式ではなく、「学生も企業も両者が自分をプレゼンテーションすることにより、より自分らしい価値観や個性に合ったマッチングの促進を目指します。

プレゼン参加者（学生・企業合わせて50名）はすでに決定していますが、当日、1分プレゼンの観覧・交流会に参加できる大学生と県内企業の方を募集しております。

日 時 平成 29 年 2 月 16 日 (木) 12 時 30 分～16 時
会 場 山梨県立図書館イベントスペース (甲府市北口 2 丁目 8-1)
参加対象者 大学生、山梨県内企業の方
参加費用 無料
定 員 入場者数の制限はございません。
申し込み WEB からフォームにて事前申し込み (観覧・交流会参加者)
公式サイト <http://miraiken.yamanashi.jp/jibun/>
参加企業 現在 27 社 (16 社がプレゼンテーションに参加)

[2] 2/7-8 平成 28 年度「県民コミュニティーカレッジ事業」×「COC+事業」
やまなし Mirai リーダー『SHINGEN』

第 2 回養成セミナー&第 3 回ワークショップ開催のご案内

http://www.yamanashi.ac.jp/wp-content/uploads/2017/01/20170126_2.pdf

このたび、COC+事業と県民コミュニティーカレッジ事業がコラボレーション
します。これからの新しい山梨の未来を築くリーダーとなる 21 世紀の信玄
『SHINGEN』。

第 1 回目は、仮想の人物キャラクターを用いたマーケティング手法である
「ペルソナマーケティング」に着目し、その理論や具体的な活用事例を紹介
しながら、これからの地域づくりやビジネスの現場において活用していくた
めの方策について学びました。

引き続き、第 2 回、第 3 回はこの新たな人材養成のための実践セミナー&ワ
ークショップを開催します。詳細につきましては、別添チラシをご確認ください
さい。

記

日 時 第 2 回：平成 29 年 2 月 7 日 (火) 13 時 30 分～17 時 00 分
第 3 回：平成 29 年 2 月 8 日 (水) 13 時 00 分～17 時 00 分

場 所 山梨県立図書館 1 階 イベントスペース

対象者 大学関係者・県民全般 (定員約 200 名)

内 容 第 2 回：やまなしの課題を「見える化」する【セミナー】
第 3 回：新たな課題からやまなしの未来を探る【ワークショップ】

チ ラ シ <http://www.coc-plus.yamanashi.ac.jp/1554/> に掲載

主 催 山梨大学地域未来創造センターCOC+部門
特定非営利活動法人大学コンソーシアムやまなし

お問合せ・お申込先 大学コンソーシアムやまなし事務局
TEL 055-244-6707 FAX 055-244-6721
Email info@ucon-yamanashi.jp

-
- 1) このメールの内容は、提供された会員様限りでご使用下さい。
 - 2) メールの内容については国立大学法人山梨大学が著作権を有します。
- □ ■
-